



令和5年11月
No.4
管理者 岩槻愛子

～児童発達支援～

秋も深まり、すっかり日足が短くなりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

先日行われました『ほっとタイム』には、お忙しい中、足をお運び頂きありがとうございました。皆様より色々なお話を聞かせて頂き、とても勉強になりました。今後も専門職員と協力し合い、子どもたち一人ひとりに寄り添った支援をしていきたいと思えます。

今年も残り2ヶ月となりました。子どもたち日々の成長を頼もしく感じている今日この頃です。大人が寒さで思わず身を縮める中、子どもたちは汗を光らせながら元気いっぱい遊んでいます。時節柄、インフルエンザを始めとする、感染症には特に気を付けなければならない季節となりました。ほっぷでは引き続き、手洗い、消毒、換気を徹底して行い、子どもたちが安心して過ごせるように支援していきます。



感覚のおはなし② 触覚

触覚には主に、以下の4つのはたらきがあります。

1. 「防御するはたらき」

例)・熱いやかんに触れた瞬間に手をパツと離す。
・腕に虫が止まるとサツと払いのける。

2. 「識別するはたらき」

例)・バックの中から欲しいものを手探りで取り出す。

3. 「情緒を安定させるはたらき」

お母さんに抱っこされたときの肌と肌の触れ合いや毛布でくるまれたときの心地よさは、触覚を通して情緒の安定を促します。

4. 「ボディイメージの発達」

皮膚は自分の身体と外界との境界にあるため、皮膚から感じる触覚を通して自分の身体の輪郭や大きさ、長さを把握することができます。

🌀触覚には大きく「防衛する役割」と「識別する役割」があります。例えばカバンの中から探し物をしていて(識別)、ハサミの刃が当たった瞬間に危険と判断し「防衛」に切り替わります。私たちは反射的に触覚の情報処理をしています。この情報処理がうまくいかないと必要以上に「防衛する役割」を使ってしまい、触ることや触られることに不快感を示す場合が出てきます。

- 例)・散髪、耳掃除、歯磨き、爪切り
・衣服へのこだわり(素材が限定、タグが嫌)
・砂、泥、のり、スライムなどが嫌
・突然触られるのが嫌

ほっぷ感染症委員会からの おねがい

新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症が流行しております。ご家族様への感染が確認された場合にもご連絡のご協力をお願いいたします。



佐々木作業療法士 来所予定日

11月14日(火)・11月30日(木)

※お子様の発達について質問や相談などがありましたらお気軽に職員にお声がけください。

～ほっぷ・すてっぷ 合同避難訓練～

10月17日(火)に実施しました。

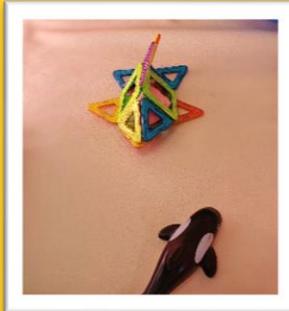


特定非営利活動法人セミナーレ ほっぷ
988-0318
宮城県気仙沼市本吉町登米沢24番地1
☎ :0226-25-7710
FAX :0226-25-7764
✉ :seminare@iaa.itkeeper.ne.jp

芸術の秋



みんなの作品展



え〜っ!!
おもちゃがうかんでる〜!

